

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		特定非営利活動法人 地域再生機構				
役職		木の駅アドバイザー				
氏名		丹羽 健司	ふりがな	にわ けんじ	生年	1953年
連絡先	住所	〒456-0023 愛知県名古屋市中熱田区六野2丁目7-19-201				
	電話		携帯電話	090-9916-1546	メールアドレス	niwa_ken2002@yahoo.co.jp (■を@に変えて下さい)

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <p>◆信州大学農学部卒。1980年農林水産省入省、2010年3月に東海農政局早期退職。鳥取大学地域学部非常勤講師、岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師、NPO法人賀露おやじの会事務局長、矢作川水系森林ボランティア協議会(矢森協)代表、矢作川森の健康診断実行委員会代表、NPO法人夕立山森林塾副代表、NPO法人山里文化研究所副代表、(一社)おいでんさんそん理事、シェアカフェHYAKKEI非常勤</p> <p>◆総務省 地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録)</p> <p>◆林野庁 森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業委員</p> <p><受賞歴></p> <p>◆森の健康診断運動で「第9回明日への環境賞」(朝日新聞)。</p> <p>◆賀露おやじの会の活動で平成23年度鳥取力創造運動優秀賞受賞(鳥取県)</p> <p><著書></p> <p>「木の駅」～ 軽トラとチェーンソーで山も人もいきいき～(全国林業改良普及協会), バイオマス材収入から始める副業的自伐林業(全国林業改良普及協会,共著), 森の健康診断(築地書館,共著)等 多数</p>					
主な取組内容・実績等	<p>◆2010年より鳥取県の地域マネージャーとしてNPO法人賀露おやじの会で、鳥取県智頭町「木の宿場プロジェクト」などの立ち上げに成功。2012年よりNPO法人地域再生機構で木の駅アドバイザーとして活動中。</p> <p>◆「森の健康診断」は、森を科学と五感で知る活動を矢森協で実施中。2005年愛知県豊田市で市民参加型森林調査「森の健康診断」運動を開始、現在全国30余県で展開中。その後「子どもの森の健康診断」や「森の健康診断出前事業」も開始。</p> <p>◆「山里の聞き書き塾」は「森の聞き書き甲子園」の大人版で、村の心を知る山里文化研究所の活動。聞き書きの手法を1泊2日の合宿講習で学び、そのあと話者とのアポ取りから聞き取り、書き起こし、編集まで塾が指導・添削して作品や書籍にする活動を行っている。</p> <p>◆「木の駅プロジェクト」は、林地残材を地域通貨で支払い地域の商店と森を元気にする活動。2009年に恵那市にて開始。現在、恵那市、智頭町、豊田市、中川村など全国80箇所立ち上がり、他全国各地で準備中であり、その立ち上げ・運営の支援や薪利用・木質エネルギー利用などへのコーディネートを行っている。</p> <p>◆</p>					
取組分野	1	観光振興	◎	7	住民参加・協働	
	2	産業振興		8	イベント交流	
○	3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通	
	4	中心市街地活性化	○	10	環境	
	5	まちづくり景観	○	11	NPO・ボランティア	
	6	農林水産品の開発・ブランド化		12	その他()	

3. 関連ホームページ

名称	アドレス
木の駅プロジェクト	http://kinoeki.org/
森の健康診断	http://mori-gis.org/
山里文化研究所	http://www.yamazato4.com/

4. ふるさと財団での実績	
外 活 部 用 専 門 成 家	<ul style="list-style-type: none"> ◆2018～19年度 長野県中川村 「荒廃森林を地域通貨で輝く資源に」 ◆2014年度 長野県根羽村 「発信！山里自慢プロジェクト根羽村」 ◆2013年度 長野県根羽村 「都市と山里をつなぐ木の駅プロジェクト」 ◆2012年度 愛知県新城市 「奥三河連携木の駅プロジェクト」
外（ 部 短 期 専 門 診 家 断 派 ） 遣	<ul style="list-style-type: none"> ◆2015年度 愛媛県東温市 「農業と観光・景観を組み合わせた地域の活性化」 ◆2014年度 北海道中川町 「地域づくり、収益事業模索」 ◆2012年度 栃木県那珂川町
地 セ 域 ミ ナ 生 ！	<ul style="list-style-type: none"> ◆2017年度 熊本県 セミナーテーマ:「素人たちが変える水源の森と村」 ◆2012年度 栃木県 セミナーテーマ:「地域コミュニティを活かした集落再生」
そ の ほ か	<ul style="list-style-type: none"> ◆2013年度 栃木県那珂川町

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和元年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chiikisaiseihoukoku.pdf
平成30年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chiikisaiseihoukoku.pdf
平成29年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chiikisaiseihoukoku.pdf
平成27年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jigyohoukokusyo.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyohoukokusyo.pdf
平成25年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H25chiikisaisei-jigyohoukokusyo.pdf
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiiki-houkokusyo.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p>< ひとことPR ></p> <p>山村再生は、その殆どを占める森を知り、森を守りその恵みを享受してきた村の心を知り、その森と村をつなげて次代につなげる仕組みづくりから始まります。そのツールとして森を知る「森の健康診断」、村の持続可能な知恵と手業と魂を尊ぶ「山里の聞き書き」、林地残材と地域通貨による村の心地よい経済を作る「木の駅プロジェクト」などを組み合わせて、地域おこしのお手伝いしてきました。最近では「地産地焼」、木質バイオマス活用によるエネルギー自給まで始まりました。これらはとりもなおさず自治再生の営みです。小さな事象一つずつをみんなで討議し決めて進めていく中で、何かが変わってきます。俺たちの村のことは俺たちが決められる、そんな当たり前成功体験の連鎖が地域を変え始めます。その現場に立ち会えるのが何よりも醍醐味で、地域再生マネージャーはじめいろんな活動を続けています。</p>